

令和7年度第1回下町集会所運営委員会 次第

日 時 令和7年5月22日(木)
18時30分から
場 所 下町集会所 会議室
君津市久留里市場 350-4

1 委嘱状・辞令交付

2 生涯学習文化課あいさつ

3 運営委員並びに職員紹介

4 委員長あいさつ

5 報告事項

- (1) 令和6年度 下町集会所管理・利用状況について
- (2) 令和6年度 学校人権教育推進事業について
- (3) 令和6年度 人権教育推進・人権啓発事業について

6 協議事項

- (1) 令和7年度 下町集会所の管理運営について
- (2) 令和7年度 学校人権教育推進事業について
- (3) 令和7年度 人権教育推進・人権啓発事業について

7 その他

下町集会所運営委員名簿

(任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日)

	氏 名	備 考
1	神子 哲也	下町自治会長
2	鈴木 純夫	下町11番組長
3	小林 享子	部落解放同盟久留里支部長
4	鳥井 みゆき	人権擁護委員
5	鈴木 賢三	上総小学校長
6	高澤 千恵子	上総小櫃中学校PTA久留里地区委員
7	森本 弘之	上総公民館長
8	川名 勲	上総地域市民センター所長

君津市地域改善対策集会所管理運営要綱第3条、第4条

令和7年4月1日から令和9年3月31日まで2年間

令和6年度 下町集会所管理運営活動 報告

下町集会所運営委員会活動		
5月	第1回 運営委員会	5月17日(金) 18:30～19:30
6月	草刈り(第1回目)	6月8日(土) 8:00～10:00
8月	草刈り(第2回目)	8月24日(土) 8:00～10:00
2月	第2回 運営委員会	2月20日(木) 18:30～19:30

令和6年度 管理予算

予算項目	予算現額	執行済額	今後 執行予定額	残額	備考
食糧費	3,000	2,764	0	236	草刈り用お茶
修繕費	40,000	0	0	40,000	執行なし
光熱水費	220,000	219,971	0	29	電気・水道代
消耗品費	2,000	228	0	1,772	草刈り消耗品
施設用燃料費	24,000	22,440	0	1,560	ガス代
手数料	5,000	2,420	0	2,580	トイレ汲み取り料
施設管理委託	36,000	36,000	0	0	清掃業務委託
その他委託	13,000	9,020	0	3,980	刈草処分委託
合計	343,000	292,843	0	50,157	

令和7年5月14日時点

令和5年度・6年度 下町集会所利用状況のまとめ

年度	令和5年度						令和6年度					
回/人	利用回数			利用人数			利用回数			利用人数		
利用目的	事業	一般	合計	事業	一般	合計	事業	一般	合計	事業	一般	合計
4月		3	3		6	6		2	2		13	13
5月	2	4	6	32	33	65	1	2	3	10	33	43
6月		2	2		8	8		3	3		9	9
7月		2	2		23	23		3	3		38	38
8月	1	4	5	18	10	28		2	2		4	4
9月		2	2		6	6		2	2		4	4
10月		1	1		3	3		1	1		3	3
11月		1	1		25	25		3	3		34	34
12月		1	1		3	3		2	2		13	13
1月		1	1		3	3		1	1		2	2
2月	1	2	3	11	33	44	1	3	4	12	49	61
3月		5	5		46	46		2	2		40	40
合計	4	28	32	61	199	260	2	26	28	22	242	264

※6月と8月に実施している草刈りはカウントしていないが、各20名ほど参加。

令和6年度の主な利用内容

事業 … 5月:第1回運営委員会 2月:第2回運営委員会

一般 … 5月:自治会合同会議 7月:夏祭り会議 11月:久留里城まつり報告会
2月:総会・組長引継ぎ 3月:自治会総会

令和6年度 学校人権教育推進事業の報告（学校教育課）

1 学校人権教育推進委員会の開催

第1回学校人権教育推進委員会を令和6年5月21日（火）に、第2回学校人権教育推進委員会を令和6年9月27日（金）に開催しました。

2 君津市学校人権教育研究協議会の開催

令和5年9月27日（金）に生涯学習文化課と共催で、君津市人権教育研究協議会が開催されました。君津市生涯学習交流センターで市内小・中学校勤務の先生、市民が学び合いました。千葉県ユニセフ協会事務局長 福本明子氏による「一人ひとりの子どもを大切にできる

家庭、学校、地域社会を目指して」でお話いただきました。

3 学校人権推進委員会会報「みんなちがって みんないい」の発行

今年度も、7月にNo.98発行、3月にNo.99発行しました。推進委員の先生方の実践紹介等を学校間で共有することで、人権意識を高めていけるよう取り組んでおります。次ページ以降に今年度の会報を載せましたので、お読みください。

4 市内小・中学校に子どもの権利条約ポスターを配布

「子どもの権利条約」は世界中すべての子どもたちがもつ権利を定めた条約です。様々な場面で耳にすることはあっても、じっくりと目にする時間がないと常日頃から感じていたため、ポスターを掲示し、啓発活動につなげたいと考えました。





発行元 君津市小・中学校 学校人権教育推進委員会
君津市教育委員会教育センター内
kyouiku-c@city.kimitsu.lg.jp

会 報〈No. 98〉

令和6年7月8日発行

令和6年5月21日、第1回学校人権教育推進委員会が開催され、今年度の方向性が話し合われました。学校の先生方、市民生活課、生涯学習文化課、様々な立場で、学校人権教育に関わってくださっていることを再確認するとともに、「せっかくなら、日頃の授業につながる情報が知りたい」という声がたくさんあがりました。

第98号では、人権推進校の上総小学校の実践、市民生活課が行っている人権教室を中心にについて紹介いたします。

【実践紹介】

～お互いの良さを認め合い、思いやりの心で
仲良く助け合う子どもを目指して～

君津市学校人権教育推進委員 村山 哲一（上総小学校）

本校は令和3年度より久留里小、松丘小、坂畑小の3校が統合し、上総小学校として旧久留里中（のちに旧久留里小の改築を経て引っ越し）の校舎で開校した。現在の児童数は115名である。

1980年代に被差別部落があったことが確認されており、古くから同和問題に取り組んできた地域である。上総小の子どもたちの人権意識を高めるために、本校では様々な取り組みを行っている。

〈学習環境づくり〉 ○人権映画会 ○人権教室

〈人間関係作り〉 ○縦割り班活動 ○サツマイモの苗植え

○上総子どもふれあい教室 ○サツマイモの収穫

〈環境づくり〉 ○人権標語の作成 ○かずさっ子文集作り

今回はその中からいくつかピックアップし、人権教育に取り組んでいくうえで得た情報や試行錯誤していることなど、いわば人権ウラ話を提供させていただくことで、他の学校の参考になったり、逆にもっと良いやり方があるを紹介していただいたりすることを期待し、この紙面の場を使わせていただいている。

○人権映画会（４月）

これまでは千葉県の健康福祉政策課から人権DVDを借りていた。送料と時間がかかり、到着する日を逆算する必要もあった。

そんな時、教育センターの織本さんが「それなら木更津市役所の生涯学習課に行けば、人権関係のDVDが借りられますよ」とアドバイスして下さり、そのことで映画会の準備が楽になり、また内容も充実しているので皆さんにお勧めしたい。

○サツマイモの苗植え（５月）～○サツマイモの収穫（１１月）

植物を大切にし、友達と協力し合う心を育てる人権の取り組みとして、縦割り班で毎年取り組んでいるサツマイモの栽培だが、毎年収穫が芳しくなかった。理由はサルによる被害である。苗の段階から柵を乗り越えて引っこ抜いてしまう。結果、サツマイモの収穫まで至らない。県の人権推進校協議会に参加した時に、意見交換の場面で自校のサツマイモ栽培について悩みを打ち明けると皆さんから驚かれ、同情された。その場にいる県北方面の先生方からはサルのサの字も出てこないし、むしろたくさん採れて困ったくらいの感じてあった。でもこれが普通の体験である。子どもたちにいかに普通の収穫体験をさせてあげるか、これが目下の課題である。



そのために取った策の一つが害獣撃退装置「通せんぼくん」の設置であった。昨年はサルが来なかった。そのおかげでこれまでよりは芋ほりで収穫体験ができ、子どもたちの笑顔や「やったあ」という喜びの声を聞くことができた。また収穫祭でふかし芋を味わうことができたことにホッとしている。今年はどうなるか真価が問われる。

○上総子どもふれあい教室（６月～２月）

ふれあい教室は、最寄りの久留里駅付近にある上総公民館で年３、４回行われている。始まりは久留里小学校時代で、令和に入った頃は全校から４０名を募集しているチラシが見られた。ところが、その後コロナ禍で接触活動が自粛となった頃に上総小学校は誕生し、久留里、松丘、亀山の広い学区ではなかなか人員を増やすことが難しくなった。そこで４～６年生だった募集を何年生まで広げるか公民館と学校で話し合った結果、講師の話を聞いて理解し活動できる年齢までがよいだろう、ということで募集人員を３年生からに広げることとなった。実際に１年やってみてこの選択は適切であったと思う。集まった子どもたち全てが人権に関する催し物を

理解し、「またやりたいです」と楽しんで体験できている姿を見ることができた。今年も3年生以上で例年並みの人数が集まっている。



目が見えない人の補助の仕方



ブラインドテーブルテニス



車いすの段の越え方

○かずさっ子文集作り（12月～）

改めて確認してみると、人権文集「くるりっ子」は、昭和62年から上総小に統合するまで35集作られていた。そして上総小になってからの文集「かずさっ子」の第3集まで綿々と連なっている。

内容はいつの時代も友達とのかかわりや生活の中で見られた思いやりなどが書かれていて、人権標語、作文というスタイルも30年以上踏襲している。そんな中変化しているのが「手書き」と「パソコン」という文集のスタイルである。どちらにも良さがあり、それぞれにデメリットもある。この3年間の取り組みはこのようだった。

第1集…全校児童がタブレットの「メモ」機能を使って作文をした。縦書きで縦棒が横向きに出て直すのが大変だった。子どもというか、教員が大変だった。

第2集…全校児童で今度はタブレットの「ミライシード」を使って作文した。「メモ」よりは文字の誤植はないが、これより良い打ち方はないか、低学年がタブレットを使う意味はあるか意見が出た。

第3集…低学年（～3年生）は手書き、高学年（4年生～）はPCで作成した。さらに今後、新たな作成方法を考えていきたい。

ちなみに子どもの文集を点検する際に、教師が見落とした部分に子どもが気付くことがまれにあるので、**子どもの相互点検はさせたほうが良い。**



田の字ドッジボール閉会式



手作りのトロフィーで表彰式



全校で田の字ドッジボール

令和6年度人権教育推進事業 実施報告（生涯学習文化課）

1 令和6年度の人権教育事業の実施状況について（総括）

市内公民館を拠点に、各地域の状況や課題意識に沿った「地域人権講座」を開催した。また、生涯学習文化課では、「人権問題学習講座」を市内人権教育推進担当教職員と連携して企画・運営し、市民と教職員が語り合い、共に学び合う機会を提供するなど、時事や地域の状況に沿った人権啓発、人権教育事業を展開することができた。

人権課題はすぐに解決できるものではないことから、持続的な取組を通じて、啓発活動や学習に結び付けていくことが重要であるため、引き続き、関係各課と連携しつつ取組を進めていく必要がある。

2 各事業の実施状況について

（1）人権問題学習講座「みんなのまんなかに子どもたちを！～ユニセフと考える子どもたちの権利」

【目的】市民及び職員が人権問題について学び、豊かな人権感覚を養うことを目指す。今回の講座は、ユニセフの理念や活動をもとに、世界の子どもの“いま”や子どもを大切にするための視点について学び、今日からできることについて、保護者、教職員、市民がそれぞれの立場から考え合う機会として実施する。

期 日 令和6年9月27日（金）14時～16時

会 場 生涯学習交流センター 多目的ホール

内 容 ユニセフの活動について、子どもの権利条約について

講 師 福本 朋子氏（千葉県ユニセフ協会 事務局長）

対 象 市民、市内小中学校人権担当教職員

参加者 33名

（2）人権ミニフェスタ2024

【目的】市内の学校や公民館の人権学習に関する展示や人権啓発に関する展示及び特別企画で、広く市民の人権意識高揚を図る機会として人権ミニフェスタを実施する。

【会場】生涯学習交流センター 11月26日（火）～12月1日（日）

上総地域交流センター 12月 4日（水）～12月10日（火）

【展示】

テーマ	内容
人権って何だろう？	人権って？／世界人権宣言とは／17の人権課題／子どもの権利条約
人権ポスター展示	木更津人権擁護委員協議会主催「子どもの人権ポスター原画コンテスト」の応募作品展示
市内小中学校関連展示	上総小学校のふれあい人権教室の取組「人権標語」の展示
市内公民館地域人権講座	令和5、6年度の地域人権講座の活動報告

（3）人権啓発活動事業（市内公民館、市民活動支援課共催事業） ※別紙参照

（4）地域人権講座（人権教育推進事業）（市内公民館、生涯学習文化課共催事業） ※別紙参照

*（3）、及び（4）は、市内公民館を中心に、人権について地域の実情に合った学習を行い、人権感覚を養うことを目指して実施している。

1 令和6年度 人権啓発活動事業報告書

(5) 研修会

	君津中央公民館	
① 実施年月日	令和6年9月27日(金)	
② 講師名及び職名	福本 朋子氏 (千葉県ユニセフ協会)	
③ 講演題目・討議テーマ	みんなのまんなかに子どもたちを！～ユニセフと考える子どもの権利～	
④ 対象者	市民、教職員	
⑤ 参加人員	33名	
⑥ 開催場所	君津市生涯学習交流センター 多目的ホール	
⑦ 配付資料名	次第、子どもの権利条約	
⑧ 効果検証結果報告	担当所見 ・子どもの権利条約をテーマに、教職員と市民がそれぞれの立場から子供を取り巻く環境を考える機会となり、グループワークも積極的な参加が見られたことから、参加者にとって有意義な講座であったと思う。 ・ユニセフの理念や活動については、水戸や地窖の見本などを持ってきてくださり、実際に水が入った水甕を持ち上げるなどして重さを体験したこともあり、単に言葉で説明を受けるだけよりも参加者の印象に残る講座になった。 ・参加者アンケートからは、「ユニセフの実際の活動を詳しく知れてよかった」「『みんなのまんなかに子どもたちを』の題のことが、こうやって様々な世代や立場の人の話を聞くことは大切だと思ふ」という肯定的な声が多かった。 ・テーマ設定や周知方法に課題があり、多くの参加者が得られなかったことから、周知の工夫や関係各所との連携により、参加者の関心を待つテーマの選定や、学習を必要とする人へ情報を届けられるよう工夫を図りたい。	
⑨ その他		

(5) 研修会

	八重原公民館	
① 実施年月日	令和7年2月22日(土) 10:00～12:00	
② 講師名及び職名	橋本 明子 (WIEN-DOインストラクター、リアライズYOKOHAMA代表)	
③ 講演題目・討議テーマ	ピンチに役立つ護身術	
④ 対象者	小学4年生以上の女性	
⑤ 参加人員	20名(大人10名、子ども10名)	
⑥ 開催場所	八重原公民館 レクリエーションホール	
⑦ 配付資料名	「WIEN-DO 心と身体の方に気付く女性のための護心術」 アンケート回収率100%(20名/20名)	
⑧ 効果検証結果報告	「暴力に気付く、避ける(距離を取る)ことが一番の護身術」「声は防犯ブザー」といった、わかりやすく、すぐ心掛けることができるポイントを教えていただいた。また、実際に腕や足を使った護身術を実演いただき大変練習した。「サークルズプログラムから考える人間関係」では、自分と周囲の関係性と距離の概念について色分けされた図を用いて説明いただいた。自分の人権を大切にすることはどうか、DVや虐待はどのような状態かということも、子どもにもわかりやすく理解できた。 保護者、子ども共に非常に満足度が高く、人権問題についての関心や理解について全員が「大変楽しかった」「おおもね楽しかった」と回答した。「女性・子どもの人権」をテーマにした研修にふさわしい内容であった。 女性限定としたが早々に定員に達した。女性であることで感じる困難が未だ多い社会にあつて、大切なことを娘に伝えたいという保護者のニーズはあらと感じた。人権について親子で楽しく学べるプログラムを、今後も提供したい。	
⑨ その他		

(5) 研修会

	周西公民館	
① 実施年月日	令和6年8月24日(土)	
② 講師名及び職名	風岡 康寛(不登校専門家家庭教師)	
③ 講演題目・音読テーマ	不登校サポート！ ～学校になじまない子の理解と支援～	
④ 対象者	小中学生の保護者及びテーマに関心のある者	
⑤ 参加人員	11名	
⑥ 開催場所	周西公民館	
⑦ 配付資料名	別添のとおり	
⑧ 効果検証結果報告	アンケート回収率:90%(10名/11名) 集計結果は別紙のとおり ・コロナ禍を経て、昨年10月には「不登校30万人」という報道もあり、悩んでいる方、関心を持つ方が増えているのではないかと考え実施した。講座対象を、保護者のみに限定せず、興味のある方も広く募集したところ、30代～70代の参加があった。参加者の質問などを見ると、「不登校」を学齢期の親子だけの問題とせず、市や地域全体で考える人権課題として捉えている様子がうかがえた。 ・今後も継続して「不登校」をテーマに講座を開催したいと考えているが、「不登校」といってもその要因は多岐にわたるため、今後「不登校サポート」と冠して別視点からの講師を招くのが、それとも要因別のテーマ(例:発達障害・現在の学校・引きこもり経験者…など)で実施した方がよいのか、また対象や方法、ニーズなどを改めて検討していきたい。	
⑨ その他	特になし	

(5) 研修会

	周南公民館	
① 実施年月日	令和7年2月27日(木)	
② 講師名及び職名	梶原克彦氏(木更津市史編纂部会委員)	
③ 講演題目・音読テーマ	戦後80年を考える～地域の戦争の記憶を紐解く～	
④ 対象者	高齢者及びテーマに関心のある方	
⑤ 参加人員	44人	
⑥ 開催場所	君津周南公民館	
⑦ 配付資料名	チラシ	
⑧ 効果検証結果報告	アンケート回収率:77%(34名/44名) 集計結果は別紙のとおり 高齢者世代の公開講座として開催。戦後80年の節目を踏まえ、歴史的な流れの中で身近な暮らしと戦争の関係について、地域の事例や当時の暮らしなどをむもどきながら学ぶことができた。参加者からは、「自分のやるべきことが見えた」「継続して実施してほしい」といった声も聞かれた。今回の学習テーマは、2/23に実施した「ふるさと周南ウォッチング・小山野編」の補完学習的な要素もあり、同事業にも参加した方からは連続受講したことで学習内容がより深まったとの声もあった。 また当日の会場展示資料として、公民館が主催事業等で聞き取りや展示を行った資料記録などを紹介した。戦時中・戦後の暮らしや体験を語れる方が少なくなる中で、こういった記録や歴史を次世代に以下に伝える機会を持つていくのが今後の課題である。	
⑨ その他		

(5) 研修会

	小糸公民館	
① 実施年月日	令和6年12月7日(土)	
② 講師名及び職名	安田 卓平 NPO法人日本ブラインドマラソン協会常務理事、強化委員長	
③ 講演題目・討議テーマ	困難を乗り越えるための生きる力 ～パラリンピックの経験から～	
④ 対象者	周東中学校生徒、地域住民	
⑤ 参加人員	183名	
⑥ 開催場所	周東中学校 体育館	
⑦ 配付資料名	チラシ	
⑧ 効果検証結果報告	NPO法人日本ブラインドマラソン協会常務理事、強化委員長安田卓平氏よりブラインドマラソンを通しての経験やパラリンピック出場の体験から、より良く人生を生きるためのアドバイスやヒントを話してもらった。 特に目ごろから感謝の気持ち、チャレンジ精神、出合いを大切に、笑顔で人と接することを心がけるなどの実例を挙げながら、ガイドランナーの役割や困難を克服するための仲間の大切さを語ってくれた。 今後社会を担う中学生や保護者に向けて、ハンデキヤップがあっても仲間で語り合い協力することの大切さを伝え、人権についての理解を深めるための講演会となった。	
⑨ その他	清和公民館との共催	

(5) 研修会

	清和公民館	
① 実施年月日	令和6年12月7日(土)	
② 講師名及び職名	安田 卓平 NPO法人日本ブラインドマラソン協会常務理事、強化委員長	
③ 講演題目・討議テーマ	困難を乗り越えるための生きる力 ～パラリンピックの経験から～	
④ 対象者	周東中学校生徒、地域住民	
⑤ 参加人員	183名	
⑥ 開催場所	周東中学校 体育館	
⑦ 配付資料名	チラシ	
⑧ 効果検証結果報告	NPO法人日本ブラインドマラソン協会常務理事、強化委員長安田卓平氏よりブラインドマラソンを通しての経験やパラリンピック出場の体験から、より良く人生を生きるためのアドバイスやヒントを話してもらった。 特に目ごろから感謝の気持ち、チャレンジ精神、出合いを大切に、笑顔で人と接することを心がけるなどの実例を挙げながら、ガイドランナーの役割や困難を克服するための仲間の大切さを語ってくれた。 今後社会を担う中学生や保護者に向けて、ハンデキヤップがあっても仲間で語り合い協力することの大切さを伝え、人権についての理解を深めるための講演会となった。	
⑨ その他	小糸公民館との共催	

(5) 研修会

	小樫公民館	
① 実施年月日	令和7年1月29日(水)	
② 講師名及び職名	小澤綾子(筋ジストロフィーを抱え歌うシンガー)	
③ 講演題目・討議テーマ	「いま」この時を生きる～歌とともに伝えたいこと～	
④ 対象者	小樫小学校4～6年生、保護者、地域住民	
⑤ 参加人員	105人	
⑥ 開催場所	小樫小学校体育館	
⑦ 配付資料名	チラシ	
⑧ 効果検証結果報告	小澤綾子さんは小樫小学校出身で、難病・筋ジストロフィーを抱えながら、闘病生活、仕事、講演活動、そして出産を経て一見の母として力強く生きている方である。東京パリンピックの開会式でもパフォーマンスを行ったほか、大阪・関西万博のパフォーマンスも予定しているなど全国でも活躍の幅を広げている。 そのような小澤さんだが、6年前にも小樫小学校の道徳の授業で講演を行っているが、改めて講演の要望がPTAから上り、筋ジストロフィーの病についてわかりやすく解説してもらいたいながらも、自身の病との向き合い方について、その苦悩や病室でのある人物との出会いなどを通して、講演テーマに迫っていった。併せて、歌の時間も設けていただき、歌の歌詞と講話の内容が結びつく構成となり、よりいっそう話が浸透していった。 保護者のなかには、小澤さんの同級生も参加していたほか、講演会終了後には講演を聴いた小学生数名があらためて会場に戻ってきて小澤さんに感謝の言葉を自主的に述べるなどの一幕もあり、参加者それぞれに心に響く内容であったといえる。	
⑨ その他		

(5) 研修会

	上総公民館	
① 実施年月日	令和7年3月6日(木)	
② 講師名及び職名	立柳 聡(福島県立医科大学看護学部准教授)	
③ 講演題目・討議テーマ	第3回地域住民交流教室 「子どもの権利を考える～子どもの権利条約批准30年に寄せて～」	
④ 対象者	テーマに関心のある方	
⑤ 参加人員	12名	
⑥ 開催場所	君津市上総公民館 2階会議室2(君津市久留里市場192-5)	
⑦ 配付資料名	次第、レジュメ、アンケート	
⑧ 効果検証結果報告	アンケート回収率:100%(12名/12名) 集計結果は別紙のとおり。 満足度では83%が「満足」、41.6%が「やや満足」と回答し、満足度が高かった。また、関心や理解度は50%が「飛躍した」、41.6%が「やや飛躍した」と回答し、理解が深まったと考える。 今後の行動については、「人権問題に関心を持ち、偏見を保持したり、差別をしないようにしたい」が54.16%、「人権問題について、もっと知識を深めたり、勉強したりする機会を持ちたい」が30%、「今回の講演会(研修会・シンポジウム)の内容を、友だちや家族に説明し、話し合いたい」が16.6%となり、今後の行動における人権意識の高揚につなげることができたと考える。 担当者所見 本年度は、日本が子どもの権利条約を批准してから30周年の節目ということで、改めて子どもの権利について考える機会として企画・実施した。子どもの権利条約を紐解くとともに、講師自身の経験を交えながら、子どもの権利の本質は何か、また子どもの権利を尊重及び擁護するために、大人がどのように子どもに関わっていかないかについて、分かりやすく講話をいただいた。 また、質疑応答では、様々な立場から子供に関わっている参加者から、音楽に感情や感想が寄せられ、一人ひとりが自分のこととして子どもの権利を捉え、今後につなげようとしている様子が伺えた。 課題としては、参加者が定員(20名)に満たなかったことである。周知方法には取りうるものはすべて取ったが、今後さらなる周知の工夫が必要である。	
⑨ その他		

令和6年度 地域人権講座 実施報告(生涯学習文化課予算「人権教育推進事業(10-4-4-1-7-1)」)

公民館名	期日	事業名	テーマと内容	講師	参加者数	実施後の担当所見
八重原 公民館	令和7年2月22日 (土) 実施予定	家庭教育講演 演会	「ピンチに役立つ護身術 (WEN-DO ウェンドー)」 演技：カナダで開発された自己防衛プログラム「Wen-do」の体験 講義：サークルメゾプログラムから考える人間関係。暴力に気づき、未然に身を守る	橋本明子氏 (リアライズYOKOAMA代表)	20	「暴力に気づき、避ける(距離を取る)」ことが一番の護身術」「声は防犯ブザー」といった、わかりやすく、すぐ心掛けることができるポイントを教えていただいた。また、実際に腕や足を使った護身術を実演いただき、練習した。「サークルメゾプログラムから考える人間関係」では、自分と周囲の関係性と距離の概念について色分けされた図を用いて説明いただいた。自分の人権を大切にすることは、DVや虐待はどのような状態かということ、子どもにもわかりやすく理解できた。
国南 公民館	令和7年2月23日 (日・祝) 9:00~12:30	ふるさとと周 南ワオッチ ング・小山 野編	戦後80年・地域の戦跡を訪ねる (現地フィールドワーク)	どうだん山の会(代表 鈴木恵子)	45名	戦後80年の節目を踏まえ、空襲の被害を受けたお寸や地下工場跡など実際に現地を訪ね、戦争にまつわるお話を聞きながら改めて平和について考える企画として実施することができた。またこれまで国南公民館で作成・収集した資料を再編し配布した冊子も好評で、合同見学の中心となつた地区の自治会長から、地域資料として自治会館に保存・活用したいとの声も頂いた。参加者からは「地元民であるにもかかわらず初めて見聞することが多々あり参考となった」「人が入らなくなるとせっかくの「歴史遺産」も埋えてしまふのではないかと伝承していきたいです」「周南に75年住んでいますが知らないうちに戦争が奪われ、戦争を自分事としてとらえることのできた様子が伺えた。
清和 公民館	令和6年12月7日 (土)	教育講演会	「困難を乗り越えるための生きる力」～パハリンピックの経験から～ パハリンピック競技であるブラインドンマラソンの存在者の体験やNPO法人日本ブラインドンマラソン協会常務理事、強化委員長の経験を通じて困難を乗り越えるための生きる力について講演いただいた。	安田 孝平	183名	NPO法人日本ブラインドンマラソン協会常務理事、強化委員長安田孝平氏よりブラインドンマラソンを通しての経験やパハリンピック出場の体験から、より良き人生を生きていくためのアドバイスを話していただいた。特に口ごもる感謝の気持ち、チャレンジ精神、出会いを大切に、笑顔で人と接すること、心をかけるなどの実例を挙げながら、ガイダンスの役割や困難を克服するための仲間の大切さを語ってくれた。今後社会を担う中学生や保護者に向けて、ハンデキャップがあっても仲間と協力し合い協力することの大切さを伝え、人権についての理解を深めるための講演会となった。
小堀 公民館	令和7年1月29日 (水)	小堀小学校 教育講演会	「『いま』この時を生きる～歌とともに伝えたいこと～」 難病・筋ジストロフィーや車いすについて、自身の病との向き合い方について、その苦悩や病室でのある人物との出会いなどを通して、講演テーマに迫っていった。併せて、歌の時間も設けていただき、歌の歌詞と講話の内容が結びつく構成となり、よりいっそう話が浸透していった。	小澤 綾子	105名	小澤綾子さんは小堀小学校出身で、難病・筋ジストロフィーを抱えながら、闘病生活、仕事、講演活動、そして出産を経て、息の母として力強く生きていく方である。東京パハリンピックの開会式でもパフォーマンスを行ったほか、大阪・関西万博のパフォーマンスも予定しているなど全国でも活躍の幅を広げている。そのような小澤さんだが、6年前にも小堀小学校の道徳の授業で講演を行っていたが、改めて講演の要望がPTAから上がり今回実現に至った。車いすでの生活について、実際にその通いなどを演説したり、筋ジストロフィーの病についてわかりやすく解説してもらいながら、自身の病との向き合い方について、その苦悩や病室でのある人物との出会いなどを通して、講演テーマに迫っていった。併せて、歌の時間も設けていただき、歌の歌詞と講話の内容が結びつく構成となり、よりいっそう話が浸透していった。

□上総人権教育推進事業実施状況について(報告)

上 総 公 民 館

1 地域住民交流教室について

(1) 目的

地域の身近な人権課題について学習し、一人ひとりの人権が尊重され、誰もが生き生きと安心して生活できるまちづくりを目指す。

(2) 今年度テーマ及びねらい

「身近な人権問題を考える」

第1回は発達障害、第2回は人権擁護委員、第3回は子どもの権利について、いずれも私たちの生活と密接に関わるテーマを設定した。人権問題を、暮らしに関わる幅広い分野から考えることで、地域の人権意識の高揚を目指した。

(3) 実施内容

回	日時	内容	講師	会場
1	8月2日 金曜日 14:00～16:00	発達障害と特性に応じた配慮	芳賀 茂氏（アビリティーズジャスコ木更津センター管理者）	上総 公民館
2	10月30日 水曜日 14:00～15:30	ご存じですか？人権擁護委員の活動	安藤 吉克氏・鳥井みゆき氏（人権擁護委員） 秋葉 修氏（千葉地方法務局木更津支局総務課長）	上総 公民館
3	3月6日 木曜日 14:00～16:00	子どもの権利を考える～子どもの権利条約批准 30 年に寄せて～	立柳 聡氏（福島県立医科大学看護学部准教授） 報償費 2 万 2 0 0 円	上総 公民館

(4) 次年度について

生活に密着した人権課題を取り上げて、複数回の講座実施を目指す。参加者数が少ないため、テーマ設定や周知方法を工夫する。

2 「上総子ども人権(ふれあい)教室」について

(1) 目的

人権に関する正しい知識、実践力等を身につける場とすると共に、子ども同士のふれあい活動を通して、仲間意識や思いやりの心を育てる。

(2) 今年度テーマ及びねらい

「いろいろな人を知り 仲間になろう！」

いろいろな立場の人との交流を通し、相手への理解、思いやりの心を育む。

※上総小学校と連携して事業を実施。

(3) 対象

上総小学校在籍の3～6年生 20名程度

(4) 実施内容

回	日時	テーマ	内 容	講 師
1	6月29日 土曜日 9:30～11:00	開級式 &仲間づくり	開級式&みんなでゲームをしながら仲間づくりのヒケツを教えてもらう。 報償費5千円 ※悪天候のため8/30に延期したが、延期日も悪天候になり中止。	NPO法人 千葉自然 学校
2	7月25日 木曜日 8:10～15:00	障がいの理解	移動学習 日本赤十字社（義肢製作所見学・体験）と千葉市科学館見学・プラネタリウム鑑賞	
3	11月30日 土曜日 9:30～11:00	パラスポーツを知る	ボッチャ体験 報償費5千円	前田佳也氏
4	2月1日 土曜日 9:30～11:00	多世代交流 &閉級式	地域の人と昔遊び 竹うま、ベーゴマ等 報償費5千円	下町自治会のみなさん

(5) 次年度について

学校休業日等を中心に実施予定である。企画にあたっては、上総小学校に協力をいただき、連携をとりながら進めたい。

令和7年度 下町集会所管理運営活動（案）

下町集会所運営委員会活動		
5月	第1回 運営委員会	5月22日（木） 18:30～19:30
6月	草刈り（第1回目）	6月7日（土） ※予備日6月14日（土） 8:00～10:00
8月	草刈り（第2回目）	8月23日（土） ※予備日8月30日（土） 8:00～10:00
2月	第2回 運営委員会	2月20日（金） 18:30～19:30

令和7年度 管理予算

予算項目	予算現額	執行済額	今後 執行予定額	残額 見込額	備考
食糧費	3,000	0	3,000	0	草刈り用お茶
修繕費	40,000	0	40,000	0	小破修繕
光熱水費	216,000	0	216,000	0	電気・水道代
消耗品費	2,000	0	2,000	0	消耗品
施設用燃料費	0	0	0	0	ガス供給契約を解約
手数料	3,000	0	3,000	0	トイレ汲み取り料
施設管理委託	36,000	0	36,000	0	清掃業務委託
その他委託	13,000	0	13,000	0	刈草処分委託
合計	313,000	0	313,000	0	

令和7年4月1日現在

令和7年度 『学校人権教育計画』

目 標

自他の大切さを認め、思いやりの心を育てる人権教育の充実

具体的事業等

1 君津市小・中学校 学校人権教育の運営

- ・君津市学校人権教育研究協議会 9月26日（金）
人権教育関係講演会を予定。生涯学習文化課と共催。

2 道徳科授業の充実

千葉県における道徳教育の主題、「いのち」のつながりと輝き ～大切なあなた、大切なみんな、大切な自然と地球、そして大切なわたし～をもとに推進していく。

きみつ学び調べ（総合学力調査）の質問紙の中にある「児童生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と感じる生徒の割合について70%以上を目指す。

3 中学校合同生徒会との連携

- ・「OMOIAI」運動
～思い合い（愛）活動の発展へ（愛さつ運動も含めて取り組む）～
- ・「SDGs活動」
～社会の課題を自分ごととして～

4 他機関との連携

- ・人権教室の実施（木更津人権擁護員協議会の委員による出前授業）
- ・人権作文・ポスターへの取組（市役所 市民生活課）
- ・公民館行事への参加（君津市教育委員会 生涯学習文化課）

5 その他

- ・人権講座等の案内
- ・ユニセフ資料の案内

令和7年度 人権教育推進事業計画案（生涯学習文化課）

（１）人権問題学習講座

【目 標】現代における身近な人権問題を学習する機会とし、より豊かな人権感覚を養う場とする。

【対 象】教職員・市職員及び一般市民

【内 容（予定）】

回	期日・会場	内容
1	9月26日（金）午後予定 生涯学習交流センター	※君津市教育センターと共催 講演「一人ひとりの子どもを大切にできる学校、地域社会を目指して」（仮題） 現在、「SDGs」や「ダイバーシティ推進」が社会的なテーマとなる中、子どもの多様性と向き合い、一人ひとりの子どもを大切にできる地域社会を目指して、市民や教職員の立場からどのように子どもと向き合い、関わりあうことができるのかについて学習を深めます。

（２）人権ミニフェスタ2025

【目的】人権週間（12月4日～10日）にちなんで、11月25日（木）～12月10日（水）に開催する。人権啓発に関する展示を実施予定。

【展示】市内2会場で実施予定

- ・生涯学習交流センター 1階ギャラリー 11月25日（火）～12月1日（月）
- ・上総地域交流センター 1階ふれあいホール 12月4日（水）～12月10日（水）

【展示内容】（予定）

- ・上総小学校児童による人権標語
- ・市内中学校の人権教育に関する取り組み紹介
- ・生涯学習文化課・地区公民館の人権教育事業の紹介
- ・千葉県子どもの人権ポスター 市内小中学生の入賞作品展示

（３）地域人権講座

市内公民館を中心に、人権について地域の実情に合った学習を行い、人権感覚を養う場を目指す。

（４）人権啓発活動事業（市民生活課と共催）

市内公民館を中心に、人権について地域の実情に合った学習を行い、人権感覚を養う場を目指す。

□上総人権教育推進事業実施状況について(計画)

上 総 公 民 館

1 地域住民交流教室について

(1) 目的

地域の身近な人権課題について学習し、一人ひとりの人権が尊重され、誰もが生き生きと安心して生活できるまちづくりを目指す。

(2) 今年度テーマ及びねらい

「身近な人権問題を考える」

人権問題は、年々多様化・複雑化しており、正しい情報を得ながら人権意識を育てる機会を充実させることが必要である。

そこで本年度も、様々な人権問題について多角的に取り上げ、身近にある人権問題に改めて目を向け、地域で考える機会とする。

(3) 実施内容 ※時間はいずれも午後2時から4時

回	期日	内 容	講師
1	8月27日 (水)	パラスポーツを楽しもう ーボッチャ体験ー	前田 佳也氏(小糸レインボー クラブ) 報償費5千円
2	12月中旬	(仮題)精神障がい者の特性と配慮 ー復職支援の事例からー	芳賀 茂氏(アビリティーズジ ャスコ木更津センター)
3	2月中～下旬	(仮題)高齢者の権利擁護と虐待防 止 ー地域包括支援センターの事 例からー	長谷川 鮎子氏(君津市東部地 域包括支援センター) 報償費5千円

(4) 予算

生涯学習文化課予算 10,000 円、市民生活課予算 10,200 円

(5) その他

参加者の増加を目指し、周知や工法を工夫する。

2 「上総子ども人権(ふれあい)教室」について

(1) 目的

人権に関する正しい知識、実践力等を身につける場とすると共に、子ども同士のふれあい活動を通して、仲間意識や思いやりの心を育てる。

(2) 今年度テーマ及びねらい

「みんなの気持ちをつなげよう！」

子どもたちが耳の不自由な方への理解や障害がある人もない人も出来るスポーツ体験などを通じて、自分の気持ちを伝え、その人への理解や関心、思いやりの心が大切であることを学ぶ。

※上総小学校と連携して事業を実施する。

令和7年度第1回下町集会所運営委員会資料

(3) 対象

上総小学校在籍の3～6年生 20名程度

(4) 実施内容

回	日時	テーマ	内 容	講師
1	6月28日 土曜日 10:00～11:30	開級式& 手話であそぼう！	「開級式&手話であそぼう！」 遊びながら手話を学び、耳の不自由な方への理解を深める。 報償費 5 千円	君津市ろう あ協会
2	7月31日 木曜日 8:45～15:30	人権の理解	移動学習 「ガスの科学館」と「東京都人権プラザ」	移動学習
3	11月29日 土曜日 10:00～11:30	パラスポーツ を知る	「みんなでモルック体験」 みんなが楽しめるスポーツを体験する。 報償費 5 千円	君津市モル ック協会
4	1月31日 土曜日 10:00～11:30	地域の方との 交流&閉級式	「地域の人と昔遊び」 竹うま、ベーゴマ、将棋など、昔あそびを通して地域の方と交流する。 報償費 5 千円	下町自治会

(5) 予算 上総公民館「課題解決学習推進事業」予算(10-4-2-7)68千円のうち
上総子どもふれあい教室(人権)より支出

(6) その他

学校休業日等を中心に実施予定である。企画にあたっては、上総小学校に協力をいただき、連携をとりながら進めたい。

君津市地域改善対策集会所管理運営要綱

(総則)

第1条 君津市地域改善対策集会所（以下「集会所」という。）の管理は、県・君津市が別に定めるもののほか、この要綱の定めるところによる。

(運営)

第2条 集会所の運営は、下町集会所運営委員会（以下「委員会」という。）がこれにあたる。

(委員の定数)

第3条 委員の定数は15名以内とする。

(運営委員会)

第4条 委員会は、集会所の適切な事業の企画と実施を円滑に進めることを目的とする。

2 委員は教育委員会が委嘱し、その任期は2ケ年とする。ただし、当該委員の補欠の委員の任期は、その前任者の残任期間とする。

3 委員会に委員長1名、副委員長2名を置く。

4 委員長・副委員長は、委員の互選とし、委員の任期を以てその任期とする。

5 委員長は会務を統轄し、本会を代表し、副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

(会議)

第5条 会議は委員長が招集し、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

2 委員長は、会議の議長になる。

3 会議に附議すべき事項は、次のとおりとする。

- (1) 管理運営に必要な事項
- (2) 使用計画及び利用状況の報告
- (3) その他必要とすべき事項

(委任)

第6条 この事項に定めるもののほか、この管理運営に関し必要な事項は委員会で定める。

附 則

この要綱は、昭和58年4月1日から施行する。

